

製品安全データシート

製造者情報

会社名 : 株式会社 和光ケミカル
 住所 : 神奈川県小田原市南鴨宮 1-1-1
 担当部門 : 技術部 担当者 : 田村 茂
 電話番号 : 0465-48-8114 FAX 番号 : 0465-49-1951
 緊急連絡先 : 技術部 電話番号 : 0465-48-8114
 作成日 1997年4月11日 (2004年10月1日 改定第4版)

製品名(化学名、商品名等) ラジエーターフラッシュ RF(品番:R120)
 株式会社クボタ品番:07909-75630

物質の特定 単一・混合物の区別 : 混合物
 成分 :

化合物名	CAS-No.	労働安全衛生法	PRTR法	含有量(%)
リン酸	7664-38-2	通知対象物	非該当	1~3
脱錆剤	企業秘密の為 記載できない	非該当	非該当	企業秘密の為 記載できない
水	7732-18-5			

官報公示整理番号(化審法、安衛法):必要なものは登録済み
 国連分類及び国連番号 : 該当せず

危険・有害性の分類 分類の名称 : 腐食性物質
 危険性 : 引火性、発火性はない
 有害性 : 皮膚、眼などに入った場合の腐食
 環境影響 : あり
 環境法の基準値 含有量
 許容濃度 16mg/L(日間平均約8mg/L:リン酸として)

応急処置 目に入った場合 : 直ちに大量の水で最低15分間目を洗浄したのち、医師の手当てを受ける。
 皮膚に付着した場合 : 多量の流水で十分に洗浄し、5%重曹水で洗い、医師の手当てを受ける。
 吸入した場合 : ミストによる中毒はないが、粘膜を刺激し、咳き込むので、速やかに新鮮な空気を吸わせる。
 飲み込んだ場合 : 直ちに微温含塩水又は石鹼水を飲ませ、吐かせた上、医師の手当てを受ける。

火災の処置 消火方法 : 通常引火性はないが、注水による消火作業で特に問題はない。
 消火剤 : 水

漏出時の措置 地上にこぼれた場合 : 少量の場合、多量の水で洗い流し消石灰又はソーダ灰で中和する。
 : 大量の場合、乾燥砂をかけて十分吸着させ容器に収納する。その後汚染場所を大量の水で洗い、消石灰、ソーダ灰などで中和する。
 : 収納した処理砂は、少量ずつ区分して処理する。
 水上にこぼれた場合 : 高濃度のものは希釈熱を発生するが、水が大量の場合は特に問題はない。水は消石灰、ソーダ灰などで中和する。

取扱い及び保管上の注意

取扱い : 皮膚に触れたり眼に入ったりしないよう、十分注意し、必ず保護眼鏡、ゴム手袋、ゴム靴、保護衣を着用する。

暴露防止措置

許容濃度（リン酸） : 日本産業衛生学会（1992年度版） $1\text{mg}/\text{m}^3$
 : ACGIH（1992年度版） $1\text{mg}/\text{m}^3$

設備対策 : 一般に、金属、コンクリート、木材などに対して腐食性を有するので、設備類はステンレス、ガラス、合成樹脂などの耐食性材質を使用する。
 : 高濃度のものは寒冷時に凍結することがあるので、保温が必要。

保護具 呼吸用保護具 : マスク（ミスト防止用）
 保護眼鏡 : 保護眼鏡
 保護手袋 : ゴム手袋
 保護衣 : ゴム又はビニール

物理/化学的性質

外観等 : 黄緑透明液体
 沸点 : 261（リン酸）
 融点 : 42.35（リン酸）
 揮発性 : 殆どなし
 蒸気圧 : 0.0285Mpa（20、リン酸）
 初留点 : データなし
 密度または嵩密度 : $1.04(\text{g}/\text{cm}^3, 15)$
 溶解度 水 : 水に対して任意に溶ける

危険性情報（安定性・危険性）

引火点 : なし
 発火点 : なし
 爆発範囲 : なし
 発火性（自然発火性、水との反応性） : なし
 酸化性 : なし
 自己反応性・爆発性 : なし
 粉塵爆発性 : 適用外
 安定性・反応性 : 安定性 良好 反応性 あり
 : 金属との接触により水素を発生し、引火・爆発の原因となる。

廃棄上の注意

: 容器を廃棄する場合は、容器の中を良く水洗、またはスチーム洗浄し、安全を確認したら廃棄する。

輸送上の注意

: 車輛等によって運搬する場合は、荷送人は運送注意書を公布することが望ましい。運送に際しては容器に漏れのないことを確認し、転倒・落下・損傷がないように積み、荷崩れ防止を確実にを行う。

適用法令

化審法及び労安法の既存化学物質名簿への登録
 労働安全衛生法 : 通知対象物（リン酸）を含有する
 PRTR 法 : 非該当
 消防法 : 非該当
 毒劇物取締法 : 非該当